

2025年4月3日

首都圏外郭放水路見学新コース 「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」マスコミ向けデモツアーを実施！

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）は、先日、江戸川河川事務所が管理する治水施設「首都圏外郭放水路」における 8 つのパワーアップ計画を発表した旨お知らせいたしましたが、計画のひとつである 4 月開始予定の新コース「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」の報道関係者向けデモツアーを実施いたしましたのでお知らせします。



見学会の様子



見学会の様子



「防災コンシェルジュ」認定式の様子

デモツアーは 3 月 26 日（火）に実施され、10 社 14 名のマスコミ関係者の方々にご参加いただき、すでに公開している全体的見学箇所に加え、今回初公開となる第 3 立坑および地下トンネルの見学を行いました。また、ツアー開始に先立ち「防災コンシェルジュ」認定式が行われ、ツアーの案内を行う当社職員 11 名が「防災コンシェルジュ」に認定されました。

今回のデモツアーでは、今後における多くの外国人観光客の参加を想定し、当社とスマートカルチャーゲートウェイ株式会社が協業している多言語翻訳システム「VoiceOn（※）」を採用しテスト稼働するなど、新たな試みにも挑戦しています。

今回マスコミ向けにデモツアーを実施いたしました首都圏外郭放水路の新コース「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」については、4 月 16 日が初回開催となりますが、ご好評につきすでに初回開催日の受付を終了させていただいております。

第 2 回「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」の開催日は、2025 年 5 月 14 日を予定しており、開催日前月の同日（4 月 14 日）より首都圏外郭放水路見学会の WEB サイトにて予約受付を開始いたします。

詳しくは首都圏外郭放水路見学会 WEB サイトより詳細をご確認ください。

<https://gaikaku.jp/>

当社は今後も、「首都圏外郭放水路」における取組を通して、子供から大人まで楽しく防災の知識を身に付けられるよう「災害の自分事化」100,000 人を目指した「防災ツーリズム」を推進してまいります。

<https://www.tobuoptours.co.jp/>
TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

※多言語翻訳システム「VoiceOn」とは

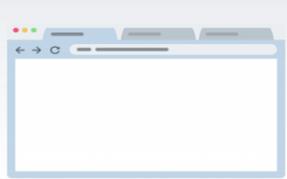
スマートフォンや PC などを使用して色々な国の方々と同時に話すことができる多言語同時翻訳サービスです。

- ・最大 21 言語に対応。 ※4/3 現在
- ・スマートフォンや PC のブラウザで使用可能。(アプリインストール不要)
- ・NICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)エンジン使用。
- ・『よく使うフレーズ』の登録可能

異なる複数の言語に、同時に翻訳が可能
(最大21言語に対応 ※現時点)



スマートフォンやPCのブラウザで使用可能
(アプリインストール不要)



インターネットに接続せずに多言語同時翻訳・通訳可能な製品もあります
(セキュリティ対策、災害時など)



ミニPC型
【VoiceOn Station】

- ・ネットワークフリー
- ・可搬性
- ・オプションで災害用バッテリー・発電機からの電源供給との組み合わせ

音声認識精度の高いNICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)のエンジンを使用



会話は音声入力の他、テキスト入力にも対応しており、あらかじめ登録しておいた『よく使うフレーズ』を選択すれば話さなくても複数言語に同時通訳が可能



以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215